



「^{まっ}その道を全うする ために大志を抱け」

7月大教会教会長会議
立教182年7月22日
大教会長 片山幹太



発行所 〒763-0223 香川県丸亀市本島町泊268
天理教本島大教会
電話 0877-27-3321 (代)
本島通信編集室 R.190724-0727-15
奈良県天理市指柳町270-1
本島詰所 〒632-0093
電話 0743-63-1571 (呼)
Email: news@honjima.com
発行部数: 897部 (先月比±0)
大教会 朝夕おつとめ時間
[6月1日~8月31日]
朝づとめ 午前6時00分
夕づとめ 午後7時00分

三代真柱様の五年祭が6月24日に執り行われ、「思い出集」が刊行されました。本島大教会からは4名の思い出文が掲載されています。私も執筆させて頂き、最後に少しでもご恩返しが出来たのではないかと思います。

この「思い出集」を大教会より全部内教会に下附させて頂きます。厚さが5センチ余り、重量も1・5キロ余りある大変重たいものです。本島詰所において各直轄教会ごとにお渡しさせて頂きます。

三代真柱様がどのようなお方だったのか、この思い出集でその輪郭を捉えることができるのではないかと思います。これからの後進に続く者にとっても貴重な史料になると思います。

次に、少し早いですが9月「にをいがけ強調の月」についてお話しします。9月は月末に「全教一斉にをいがけデー」があり、教会長路傍講演の日も設

けられています。9月は1ヶ月間を通して、にをいがけに力を入れる月です。

先月のかなめ会の席上、井筒梅夫布教部長より「これまで9月の活動は横(教区・支部)の活動が中心でした。これからは、縦(教会系統)からもしっかりとこの月を意義あらしめて行きたい」というお話を頂きました。

そこで大教会でも布教部で相談した結果、9月は全教会が「にをいがけ日」を決めて教会に繋がる皆さんと実動し、おぢばの声に沿わせて頂けるよう勤めさせて頂くことにしました。

そのため早速独自のチラシも作らせて頂きました。おぢばへ人を導かせて頂く心をもって9月には、にをいがけに努めさせて頂きたいと思えます。

最後に、クラーク博士の名言「少年よ大志を抱け」には、続きがあるそうです。一説によると「少年よ大志を抱け。金や私欲のためではなく、名声という空虚な志のためではなく、人はいかにあるべきか、その道を全うするために大志を抱け。」と続くのです。

少年会活動を通して、子供達や学生達を丹精する。それは、信仰の素地を身につけて、ようぼくとして勤められるよう導くことだと思えます。その

テーマがこの名言の中に記されているように思うのです。

成人することがなぜ大事なのか。金のためでも私欲や名声のためではない。親神様が何のために我々人間をお創り下さり、何のためにこうして結構にご守護くださっているのか。この元をしっかりと伝えられるようにしたいと思います。笑顔で勇んでこの夏を乗り切って行きましょう。

ありがとうございました。
(文責: 本島通信編集室)

ウィリアム・スミス・クラーク(William Smith Clark、1826年7月31日 - 1886年3月9日)は、アメリカ合衆国の教育者。化学、植物学、動物学の教師。農学教育のリーダー。1876年(明治9年)札幌農学校(現北海道大学)開校。初代教頭。



“Boys, be ambitious! Be ambitious not for money or for selfish aggrandizement, not for that evanescent thing which men call fame. Be ambitious for the attainment of all that a man ought to be.” (北海道大学付属図書館ウェブサイトより)

成ってくる理を思案し、 良い言葉を出しているよう

大教会役員 **長谷川邦昭**
はせがわくにあき

只今は大教会長様を心に7月の月次祭を滞りなく勤め終えさせて頂き、ご同慶に存じます。

本日、私はピンチヒッターで神殿講話を勤めさせて頂きます。よろしくお願ひします。

これは先人から聞いた、平野檣蔵先生と増井りん先生のお話です。

平野檣蔵先生がある朝、教祖にご挨拶



挨拶に伺うと教祖は、

「檣蔵さん。一に愛嬌あいきょう二に度胸どきょうやで。」と仰せられました。

続いて増井りん先生がご挨拶に伺うと、教祖は、

「おりんさんや、一に度胸、二に愛嬌やで。」

と仰せられました。

愛嬌と度胸の順序が違うことに納得がいかない檣蔵先生は、再び教祖のところへご挨拶に行き、「さきほど、『一

に愛嬌、二に度胸やで』との仰せでしたか」とお尋ねすると教祖は、「そーや、そーや」とお答えになりました。

今度はおりん先生が確認に行くと、「そーや、一に度胸、二に愛嬌やで」とお答えになりました。

そこで二人はお互いに顔を見て、納得がいったそうです。要するに、教祖

はそれぞれの性格やいんねんに対して、それぞれに合ったことを教えられ、導かれたのだということ。おふでさきに

にちくくにすむしわかりしむねのうち せえぢんしたいみへてくるぞや

(第6号15)

とあります。

私たちは日々お道を通らせて頂き、段々と成人させて頂く中に、次第にもこの見え方が違ってくるのであります。最初は不足をすることがあっても、成人次第に様々な親のご守護を悟り、喜べるようになるのではないのでしょうか。

私の教会では、ある夫婦が住み込んでくれています。日系人二世の女性と白人の男性です。

白人の男性はそれまで天理教を知らなかったのですが、とても素直な方で、教会では朝夕のおつとめをきちんと勤めてくれます。最初はちゃんぽんを間違えながらやっていたのですが、それが出来るようになるまで次はすり、がね、今では太鼓を譜面ふめんを見なくても出来るようになりました。

ただし、てをどりは難しいよう得意味も分からず真似てやってくれています。

そのご夫婦にいつも感心することが

あります。それは朝づとめが終わり「おはようございます」と挨拶した最後に「Have a Great Day (今日は素晴らしい日を)」と言うのです。

そして夕づとめ後は「Have a Great Evening 今夜も素晴らしい夜を」と言います。

きつと自然にこのような言葉が出るのだと思いますが、2年間ずっと言い続けてくれると、言葉に力が生まれて、その方といると次第に楽しくなってくるのです。

また、ふとしたきっかけで家内と知り合った方のお話をします。

その方は日系人の女性で、一昨年にご主人が亡くなり、子供もいないので次第に不安になり、ボーッと目が見えなくなってきたそうです。運転するのも不安だと言いますので、「一度、教会に来てみたら」と声を掛けました。

おさづけを取り次がせて頂いたところ、数日経って「やっぱり天理教の教会へ行くの止めます」と言われます。理由を伺うと、「私は30年間、キリスト教の教会へ通っているのに、悪いことだと思えます」ということでした。

私は、「そういう心配事や不安が、目の前をボーッと見えなくさせているのではないのでしょうか。神様にもたれ

て、天理教へ21日間続けて来てご覧なさい。キリスト教の教会には日曜日に行ったらいいのですよ」と申し上げました。

その方は素直に毎日夕づとめに合わせて参拝に來られるようになり、そのつど私は神様のお話を取り次ぎ、おさづけを取り次がせて頂きました。

当初の21日間を超えて2ヶ月以上ご参拝に來られています。目もすっきり見えるようになりました。先日は月次祭で初めてちゃんぽんを勤めてくれました。

どのよふなところの人がで、きてもみないんねんのものであるから

(第四号54)

皆さん等しく親神様の子供ですから、人間思案から見て良いとか悪いとかではなく、成つて來る理を思案して、それを活かして、喜びにつなげ、良い言葉を出してまいります。それが人を育てることになるのではないでしようか。

3年後の2022年5月21日、大教会創立120周年記念祭のお打ち出しを頂きました。三年千日、皆さんで勇んで勤めさせて頂きました。

ありがとうございます。

(文責・本島通信編集室)

各地の動き

シータック教会90周年

シータック教会(長尾啓子会長、米国ワシントン州イースト・エッジウッド市)では、大教会長夫妻を迎えて、7月7日の月次祭に併せて、創立90周年記念祭を執り行いました。参拝者約30名

シータック教会の元一日は昭和4年(1929)1月11日、タコマ教会として設立の理のお許しを頂いたことに始まり、昭和59年(1984)10月26日現在地へ移転し、シータック教会と改称しました。

おつとめを勤めた後、90年



を振り返るスライドショーが催されました。

インターナショナル

ひのきしん隊

毎年夏に親里で開催されるインターナショナルひのきしん隊に、今年本島大教会より4名が参加し、ひのきしんに汗を流しました。

期間は7月18日から24日まで、蛇谷山整備、天理高校本校舎の清掃、こどもおちばが

えり準備などを行いました。

ひのきしん隊入隊者名簿

▼サウザンパシフィック△ピクター・ザラバ ▼エヌ・シム△ブライトン・ウォング△ライリー・シコラ ▼マウイ△マイルズ・ヒサオ

【計4名】



写真：天理教青年会フェイスブックより

おてふりお手直し



世話人・宮森与一郎先生によるおてふりのお手直し(第2回)が、7月24日午後2時より2時間、本島詰所北棟一階和室で行われ、大教会長夫妻をはじめ17名が受講しました。

まず基本の手の復習を行った後、よろづよ八首、五下り目から八下り目までのおてふりを稽古しました。

宮森先生はおてふりについて、①素直な手、②一手一つの手、③勇んだ手の3つを示され、特に「一手一つの手」について、「一人ひとりが鳴物の拍子と隣人の手に合わせようと意識するだけで、全体のおつとめが変わる」ことを示唆され、6人ずつ分かれてお互いの手を確認していました。

このお手直しは今後も宮森先生のご都合に合わせて続けられることになっています。

レッツゴー青年会 勇み隊

青年会本島分会(片山秀明委員長)では、7月7日に本太分教会(佐藤道子会長、さいたま市浦和区)において、ひのきしんを実施。教会内の剪定を行いました。青年会員だけでなく、婦人会員、少年会員、学生会



員の総出となりました。

事情はいつ

(立教182年7月26日)
 サウザンパシフィック教会
 遷座祭日願
 (シロアリ駆除のため)

遷座祭 立教182年8月22日
 臨時祭典願

鎮座祭 立教182年9月6日
 奉告祭 立教182年9月7日
 臨時祭典願

創立90周年記念祭
 立教182年9月7日
 以上

をびや許し

(立教182年6月分)
 ▼本室△西山知子 ▼本千代
 △今宮知佳 ▼本邦△三宮尚
 子 ▼本龜△石川千裕 ▼本
 眞陽△鍛冶晋美 ▼吉松峰△
 安増昌子 [計6名]

おさづけお取り次ぎ報告

(立教182年7月22日)
 報告数 1、302回
 累計 9、886回
 ※前年同月累計比 1263回減

大教会長動向

▼8月(予定)▲
 2日、おやさとパレード
 3日、鼓笛御供演奏、
 オンパレード、後夜祭
 5日、本島団おつとめまなび
 総会とおちばの集い
 8日、本室分教会巡教
 9日、本樺分教会巡教
 10日、樺太分教会巡教
 13日、本勇分教会巡教
 22日、大教会月次祭執行
 24日、修養科総立ちまなび
 25日、かなめ会委員会
 26日、本部月次祭参拝
 27日、かなめ会
 28日～31日、教人資格講習会
 以上

最後のおやさとパレード参観

本島詰所では、7月26日午後6時30分より、詰所に滞在している帰参者やひのきしん者に声をかけ、「おやさとパレード参観ツアー」を実施。30名が参加しました。

これは少年大会を連れていない教会長や帰参者にも、親里の夏を味わってもらおうと大教会長の呼びかけで初めて実現したもの。奇しくも教会本部では、来年のこともおちばがえりから期間短縮と、おやさとパレード見直しが発表され、現行でのパレードは最後となることから、参加者は惜しみながらその熱気を十分味わいました。

証拠守り下附

(立教182年6月分)
 本盛濱1、吉峰1 [計2名]



詰所の履物を整理

【本島詰所】

- 本島詰所の表玄関・駐車場側の裏玄関ならびに修養科玄関の下足室に放置されていた履物すべてを、去る7月1日、整理を行い、別の場所へ移動しました。
- 履物にお心当たりのある方は、詰所事務所へお申し出の上、履物をお引き取り下さるようお願いいたします。
- なお、整理した履物はすべて番号をつけて写真を撮りました。本島大教会ウェブサイト(本島ドットコム)からパソコンやスマートフォンで確認していただけます。
- 今回整理した履物は、来年6月末日をもって処分いたします。
- 詰所の下足棚は今後も定期的に整理いたしますので、ご注意願います。



本島ドットコム履物の画像は、左のQRコードからアクセスできます。

統計 (6月1日～30日)

教会名	初席	中席	参り回数	修科	教人講習	検定講習	にをいがけ名簿提出教会 (7月)									
							本島	本樺	本室	本谷	本川	本代	本都	本京	本草	本日
本島	2						0	12	5	20	3	2	56	58	20	2
御幸濱				1												
本中国		1														
栄森峰	1															
栄東峰				2												
實峰				1												
別峰	1	1														
仙峰		1														
工ヌ・シー	1															
合計	5	3	0	4	0	0	計29教会						491名			

ろくがた

(立教182年7月分)

▼本島△片山幹太・片山かおり・香葉子・幹太郎・好次・昇太△長尾真実・幸太△片山秀明△藤山さちよ
 ▼樺太分教会 ▼本樺分教会 ▼本浜△片山清枝・正枝・誠 ▼本攝分教会△片山元一・直道・葉々 ▼崇徳分教会 ▼ポートランド△片山和信・陽子・昇慶・竜次 ▼シートタック教会
 ご芳志に厚くお礼申し上げます



「三代真柱様思い出集」

【総務部】

- 本島詰所事務所において、直轄教会ご下附いたします。事務所へお申し出ください。
- 本の寸法：縦226cm、横17cm、厚さ55cm、重さ16kg

9月にをいがけ強調の月

【布教部】

- 9月は、教会にをいがけ日を定めましょう
- 立教182年全教一斉にをいがけデー
- 期日：9月28日、29日、30日

レッツゴー青年会 勇み隊

【青年会本島支部】

- 日時：9月14日(土)午前10時～
9月16日(祝)午前11時30分
- 場所：本島大教会
- 内容：海の家のかき出しのきしん等
- 持ち物：ハッピー、ひのきしんのできる服装と靴、宿泊道具
- 参加費：なし
- お問合せ先：
片山秀明(Tel 080-6785-0031)
伊東賢太郎(Tel 080-8738-8349)
鎌田康典(Tel 080-6103-2245)

雅楽練習会・講習会

【青年会本島支部】

本島分会 雅楽練習会

- 日時：8月25日(日)
午前10時～午後3時
- 会場：本島詰所
- 本島分会 雅楽講習会
- 日時：10月12日(土)～13日(日)
- 会場：本島大教会

<https://www.honjima.com/>

本島大教会ウェブサイト

中国四国ブロック「地域の集い」

【教会長子弟育成委員会】

- テーマ：「共に道に繋がろう」
- 日時：9月1日(日)午前10時30分より午後4時
- 会場：本島大教会
- 対象：地域に在住する道の後継者(18歳～55歳位)
- 参加費：500円
- 内容：講話、ひのきしん、親睦会
- お申込み、お問合せは下記担当委員まで
茶屋原迪江(082-245-3528)
菅岡和美(087-848-2397)
長尾海和(0877-35-3502)
宮路和徳(090-3739-3414)
- 申込期限：8月22日

関西ブロック「地域の集い」

【教会長子弟育成委員会】

- テーマ：「共に道をつないで」
- 日時：9月8日(日)午前10時(受付9時30分～)より午後3時30分
- 会場：本島詰所講堂
- 対象：地域に在住する道の後継者(18歳～55歳位)
- 参加費：500円
- 内容：ウォーミングアップ、おてふり勉強会(座りづとめ、よろづよ八首)、教祖伝第2章生い立ち拝読と練り合い、お楽しみ行事
- お申込み、お問合せは下記担当委員まで
奥村龍夫(06-6394-2297)
伊東康成(0798-33-3592)
宮路和徳(090-3739-3414)
- 申込期限：8月26日

8月ひのきしん派遣依頼

【総務部】

〈本部食堂ひのきしん〉

- 期間：8月16日～31日
- 派遣教会：本攝①

〈大教会・炊事ひのきしん〉

- 期間：8月21日～22日
- 派遣教会：同朋①、赤峰②

〈詰所・食堂ひのきしん〉

- 期間：8月25日～26日
- 派遣教会：本浜②、張家口①

女子教養掛希望調査

【婦人会本島支部】

- 修養科女子教養掛は、本年より約10日間交代でお勤め頂いております。引き続きこの体制でさせていただきますが、来年より期間を5日～15日、15日～25日、25日～翌月5日までと変更することとなりました。
- そこでお勤め頂く方の希望期間と支障月を調査させて頂き、可能な限りご希望にそった教養掛当番表を作成させて頂きたいと考えております。
- 就きましては別紙調査表にご記入の上、直轄教会ごとにまとめて、9月22日までに全委員部必ずご提出下さいますようお願い申し上げます。

〈女子教養掛のおもな仕事〉

- ◇詰所主任ならびに男子教養掛と相談しながら、修養科生がおちばに引き寄せられた喜びをもって終始できるようお世話取りいたします。
- ◇朝夕おつとめ、詰所ひのきしん、修練等を修養科生と共につとめます。
- ◇身上者(特に女性の修養科生)におさづけをお取り次ぎします。
- ◇おさづけの理拝戴者の着付けをします。
- ◇女鳴物を常に手入れし、修養科生の希望に応じて共に稽古します。
- ◇修養科生に子どもがいる場合は、朝の神殿掃除や修練の時間、子どもの世話取りをします。
- ◇トイレ等のタオル交換をします。

〈希望調査票についての説明〉

- ◆原則として女子教養掛は委員部長が勤めることとし、もし委員部長が勤められない場合は、代理をご推薦ください。
- ◆いずれの期間も、本島詰所集合です。初日朝づとめより始まり、最終日夕づとめ・修練までお勤め頂きます。(初日と最終日は前任者または後任者との引継ぎとなりますので、遅刻早退のないようお願いします)
- ◆お子様連れを希望される方はご相談下さい。
- ◆この希望調査は今後随時行いますので、現状についてお書き下さい。
- ◆お問合せは修養科世話係(原口和子 080-4312-6924)まで願います。
- ◆提出先：片山かおり支部長(大教会 FAX 0877-27-3323、大教会へ郵送も可)